

平成 27 年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	植物病原菌の感染戦略における宿主認識と形態形成の分子基盤
研究代表者	久保 康之（京都府立大学・大学院生命環境科学研究科・教授）
研究期間	平成 27 年度～平成 31 年度
審査結果の所見	本研究ではウリ類炭疽病菌をモデルとして、『宿主表層環境の複合認識による侵入器官形成の制御機構』と『宿主－病原菌間インターフェイスを介した形態形成および感染制御機構』の解明を目指している。感染戦略における宿主認識と感染器官形成の分子機構を目指す本研究は、独創性が高く、応用展開においてもインパクトが大きい。研究計画は、具体的で十分に練られたものになっており、成果が期待できる。本研究は応募者らのこれまでの当該分野における世界を先導する実績に基づいた挑戦的な研究であり、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。